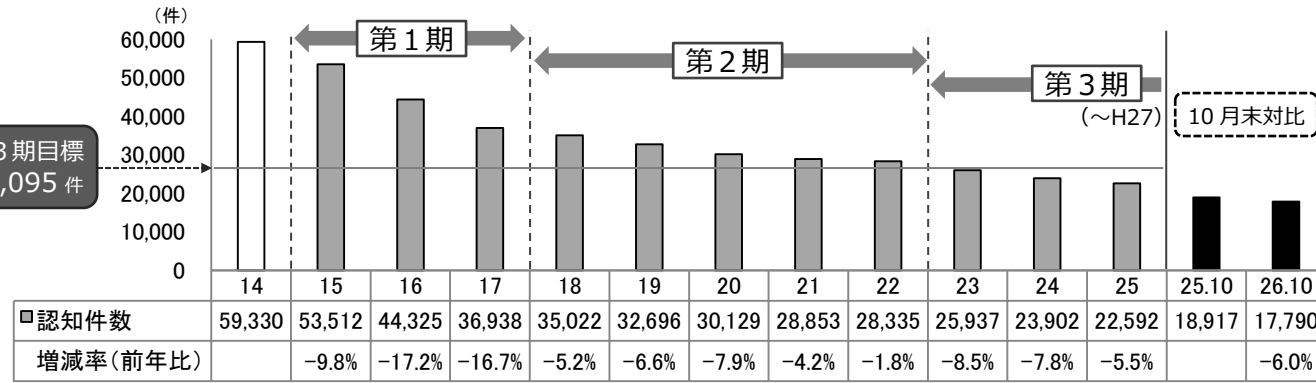


広島県内における犯罪情勢

1 刑法犯認知件数



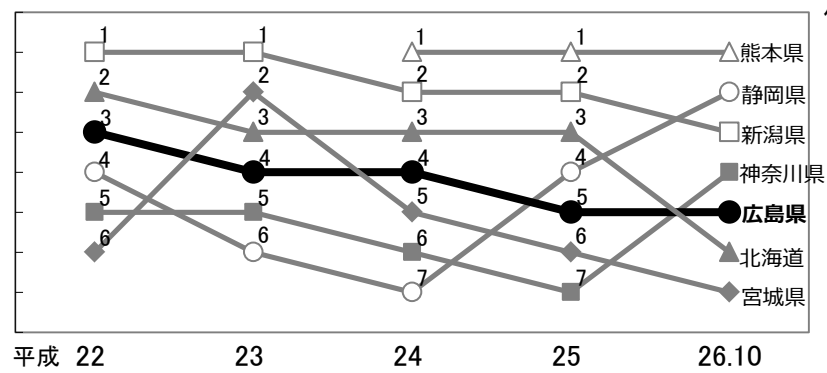
刑法犯認知件数は、「減らそう犯罪」県民総ぐるみ運動を開始した平成 15 年以降、一貫して減少しており、平成 23 年からは3年連続で戦後最少を更新しています。本年も 10 月末現在で前年同期比 6.0%減少となっています。

2 犯罪率 (人口 10 万人当たりの刑法犯認知件数)

政令市等を包括する都道府県の犯罪率 H25

順位	都道府県名	刑法犯認知件数	犯罪率
1	熊本県	12,836	710.3
2	新潟県	17,320	738.0
3	北海道	41,066	752.1
4	静岡県	29,395	787.0
5	広島県	22,592	793.3
6	宮城県	19,367	833.0
7	神奈川県	76,962	848.8
8	岡山県	19,824	1024.0
9	埼玉県	84,154	1166.9
10	京都府	31,944	1216.9
11	東京都	162,557	1228.7
12	千葉県	77,904	1257.5
13	兵庫県	70,532	1266.1
14	愛知県	96,839	1303.9
15	福岡県	66,794	1313.5
16	大阪府	157,951	1783.5

犯罪率順位の推移 政令市等を包括する16都道府県中

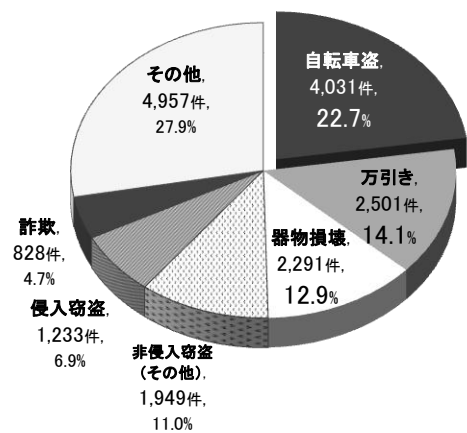


※ 熊本県は、平成 24 年 4 月に熊本市が政令市となったことから追加。

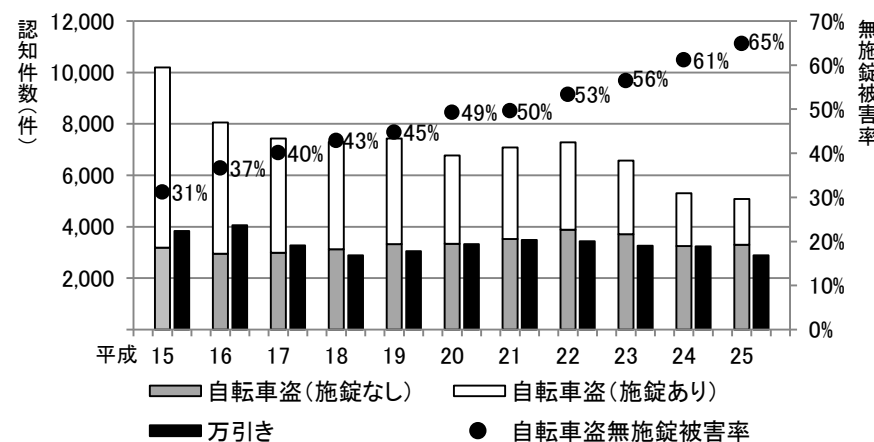
平成 25 年中の犯罪率は、政令市等を包括する 16 都道府県中 5 位となっており、1 位となるためには、さらに 2,362 件減少(年間 20,230 件)させなければなりません。

3 多発犯罪 (自転車盗・万引き)

刑法犯の内訳 H26.10



自転車盗・万引きの認知件数と自転車無施錠被害率の推移

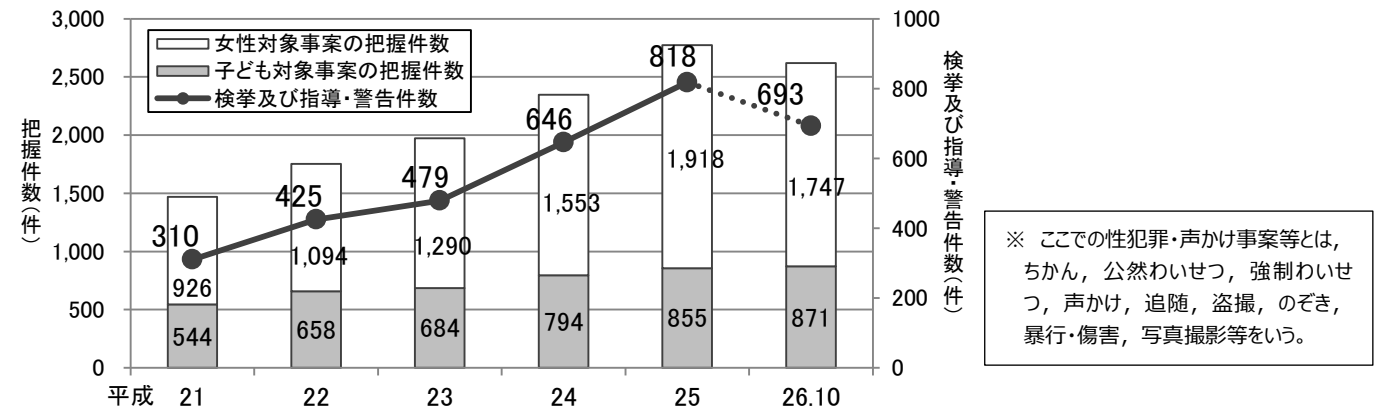


自転車盗、万引き及び器物損壊で刑法犯全体の約半数を占めています。JIS 規格の錠を備えた自転車の普及等により、施錠された自転車の被害件数は減少していますが、施錠されていない自転車の被害件数は横ばい状態となっており、結果として、無施錠被害率が上昇しています。

4 子ども・女性対象事案

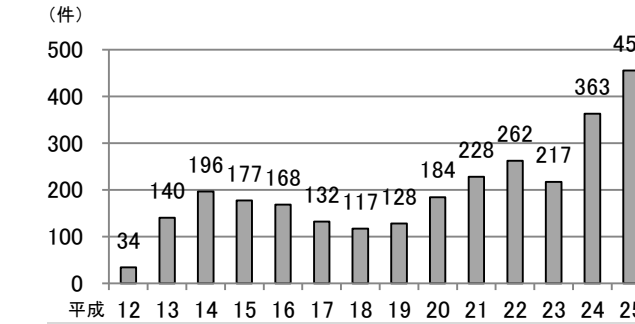
資料 1

子ども・女性対象の性犯罪・声かけ事案等の把握件数と検挙等件数の推移

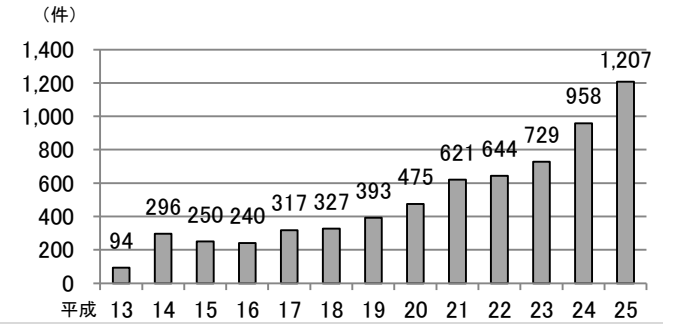


※ ここでの性犯罪・声かけ事案等とは、ちかん、公然わいせつ、強制わいせつ、声かけ、追従、盗撮、のぞき、暴行・傷害、写真撮影等をいう。

ストーカー事案の認知件数の推移



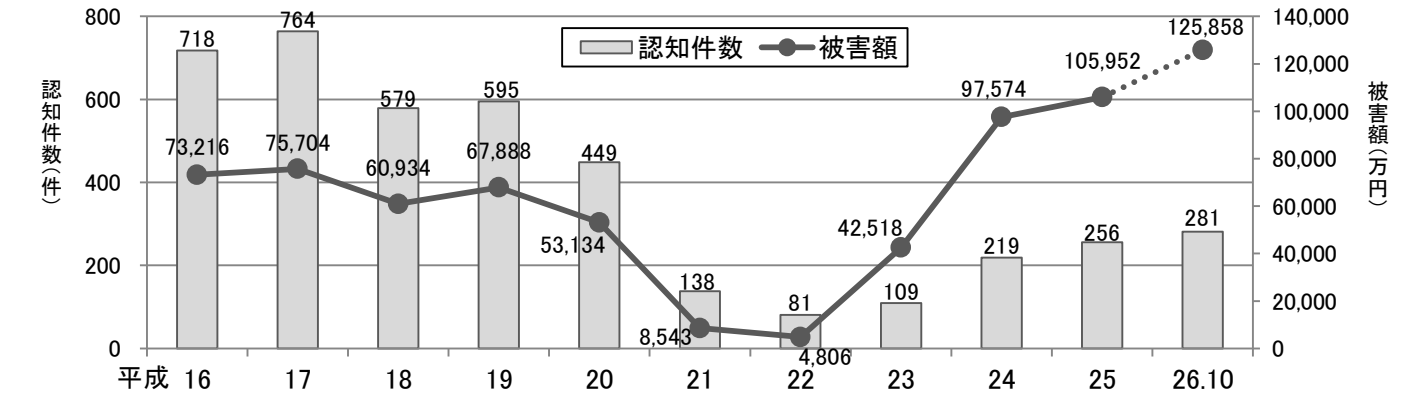
DV 事案の認知件数の推移



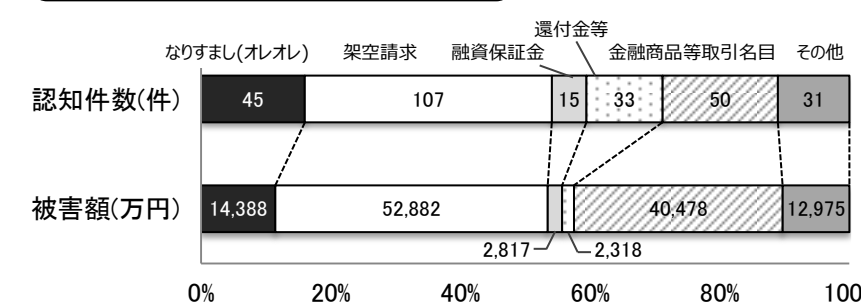
子ども・女性に対する性犯罪・声かけ事案やストーカー・DV 事案の把握件数は年々増加傾向にあります。警察活動の強化により、性犯罪・声かけ事案の行為者を特定し、検挙又は指導・警告する件数も増加しています。

5 特殊詐欺

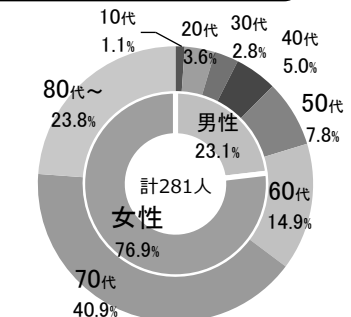
特殊詐欺の認知件数と被害額の推移



特殊詐欺の手口別内訳 H26.10



特殊詐欺被害者 H26.10



特殊詐欺の被害額は、昨年初めて 10 億円を突破しましたが、本年は 9 月末の段階で昨年の年間被害額を上回る被害額となっています。手口別で見ると、「架空請求詐欺」と「金融商品等取引名目詐欺」が被害額全体の約 4 分の 3 を占めており、60 歳以上の女性が被害者となるケースが目立っています。